

シンコー カーボンコート



適応地

内装

- 石膏ボード（ベベルボード）
- 石膏プaster
- セメントモルタル※1
- 合板※2

内外装

- セメントモルタル・コンクリート ※2
- 中塗土※3
- 古い漆喰壁※4

※1 セメントモルタルは完全乾燥している場合に限ります。
 ※2 養生期間によってはガードシーラーを併用して下さい。
 ※3 粘り気の無い中塗土への施工はお避け下さい。
 ※4 古い漆喰壁の強度がしっかりしている場合に限ります。

適応仕上材

- 漆喰
- 内外装用砂壁
- 聚楽壁
- 繊維壁
- けいそう壁（樹脂系・薄塗り）
- 内・外装用合成樹脂系仕上材（合成樹脂量が1kg/3.3㎡以内の仕上材に限ります。）

一材型

優れた性能と作業性

■ 高性能炭素繊維と特殊粉末樹脂配合

■ 樹脂系かつ中性

セメント系下地に施工する事でアルカリ下地を中性下地に作り変える事も可能。

曲げ強度の向上

ひび割れを抑制

コテ切れが抜群

乾燥が早い

白華防止

練り方

- 標準加水量の約9割（10kg入りの場合約4.3ℓ、3.5kg入りの場合約1.5ℓ）の上水道水を入れた練り容器内に、カーボンコートを投入し、十分に練り合わせた後、残りの上水道水を加え塗り易い硬さに調整して下さい。
- 目地詰めにご使用の場合、標準加水量の約7割程度で硬めに練って下さい。

ノンホルムアルデヒド商品

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0306025
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問い合わせ先	http://www.nsk-web.org/

主成分	炭酸カルシウム 炭素繊維 ゼオライト 粉末樹脂
正味質量	10kg 3.5kg
標準加水量	4.8ℓ 1.7ℓ
標準所要量	約10㎡/袋 約3.5㎡/袋
目地処理量	ベベルボード目地 標準（約20m/kg）
標準塗り厚	1mm

株式会社 シンコー <http://www.shinko-kenzai.com>

- 本社 〒550-0015 大阪府大阪市西区南堀江 4-32-11
 TEL 06-6541-5755(代) FAX 06-6541-8797
 E-mail osaka@shinko-kenzai.com
- 東京支店 〒339-0027 埼玉県さいたま市岩槻区尾ヶ崎 953
 TEL 048-798-3255 FAX 048-798-5923
- 新潟営業所 〒942-0052 新潟県上越市上源入字立ノ越 377-1
 TEL 025-543-3688 FAX 025-543-3689
- 仙台営業所 〒983-0833 宮城県仙台市宮城野区東仙台 2-17-18-101
 TEL 022-295-1708 FAX 048-798-5923
- エースエフ事業部 〒273-0005 千葉県船橋市本町 6-2-10
 東京営業所 ダイヤパレスステーションプラザ船橋 714号
- 九州出張所 〒814-0165 福岡県福岡市早良区次郎丸 4-4-6-602
 TEL・FAX 092-518-5562
- 四国駐在所 大阪本社までお問い合わせ下さい
 工場 〒673-0023 兵庫県明石市西新町 2-12-14

■ 詳しくはお気軽に当店までお問い合わせください。

シンコー カーボンコート 施工方法



内装 石膏ボード（ベベルボード）下地への施工

①カーボンコートで目地詰め

下地の汚れホコリ等を予め拭き取る。

固練りしたカーボンコートをコテ先で目地部へ十分に詰め、はみ出した部分はかき取って平滑に仕上げる。

※Vカット部等石膏が剥き出しの部分はあらかじめモルタルボンドを6～8倍程度に希釈したものを塗布し、吸水を止めておく。

②ファイバーグラスメッシュの貼付け

3時間以上置き、目地詰めした部分にヤセがない事を確認してから、目地部分にファイバーグラスメッシュ（100mm 又は 50mm 幅）を貼付ける。

③カーボンコートで全面下地調整

カーボンコートを1mm厚で平滑に塗り付ける。

④仕上げ塗り

24時間以上養生しカーボンコートを完全に乾燥させた後、各種仕上材を施工する。

内装 外装 古い漆喰の塗り替え施工

①下地の清掃

下地の汚れ、ホコリ、レイタンス層を予め除去する。

②下地の補修

漆喰の欠落等、部分的に大きな段差がある場合は樹脂モルタル等で補修を行う。

※補修部分が小さい場合はカーボンコートの固練りでも補修可能。

③ガードシーラーを塗布し、アク止め処理をして下さい。

※カーボンコートにはアク止め効果はありませんので、必ずガードシーラーを塗布する。

※新しい仕上材に再度漆喰を施工する場合は、気泡が多量に発生する事を防ぐため、ガードシーラーを2倍希釈にして処理を行う。

④カーボンコートで全面下地処理

ガードシーラー乾燥後、カーボンコートを1mm厚で平滑に塗り付ける。

⑤仕上げ塗り

24時間以上養生しカーボンコートを完全に乾燥させた後、各種仕上材を施工する。

《使用上の注意》

- ・お子様の手の届かない所に保管して下さい。
- ・目に入った場合は水道水で15分以上洗眼し、直ちに医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合は水道水でよく口の中を洗い、直ちに医師の診断を受けて下さい。
- ・肌に付着した場合は、水と石鹸でよく洗い流して下さい。
- ・内装の場合、施工時から乾燥するまでの間は、湿気を除く為、窓を開ける等して換気を行って下さい。
- ・空容器等の処理は、産業廃棄物業者に依頼する等して適切に処理して下さい。
- ・残材は、下水・河川・池・井戸・地下水等を汚染する恐れのある場所には破棄しないで下さい。
- ・作業後は手洗い・うがいを行い、汚れた作業着は洗濯して下さい。
- ・直射日光の当たる場所、湿度の高い場所、高温（40℃以上）、低温（0℃以下）、室外での保管はお避け下さい。

内装 外装 セメントモルタル下地への施工

①セメントモルタルの養生

セメントモルタルは、施工後2週間以上養生し、十分に乾燥させておく。

②下地の清掃

下地の汚れ、ホコリ、レイタンス層を予め除去する。

③カーボンコートで全面下地処理

カーボンコートを1mm厚で平滑に塗り付ける。

④仕上げ塗り

24時間以上養生しカーボンコートを完全に乾燥させた後、各種仕上材を施工する。

※コンクリート下地の場合は離型材等の残着が無いように注意し、十分な養生期間を取り完全に乾燥させた上で、ジャンカ穴等の不具合を補修してから施工する。

《施工上の注意》

- ・本品は、けいそう壁、砂壁等の内・外装合成樹脂系仕上材及び漆喰用の下塗材です。セメント系仕上材を施工する場合は、シンコー樹脂モルタルSフィラーをご使用下さい。
- ・仕上材は、合成樹脂量が1kg/3.3㎡以内の材料をご使用ください。
- ・外装の下地調整に使用の場合、必ず立ち上がりに巾木を設け、基礎部には使用しないで下さい。
- ・裏面からの水回りがある場所や軒、笠木の無い場所には施工しないで下さい。
- ・本品にはアク・シミ止め効果はありません。改装の場合は「ガードシーラー」を併用して下さい。
- ・サビの出る箇所は、必ず防錆処理をして下さい。
- ・浴室等、常に湿気に晒される場所への施工はお避け下さい。
- ・下地の不陸、ボードの段違い等が大きく、厚付けを必要とする場合は、まず下擦りを行い、水引後もう一度重ねて所定の厚みに塗り付けて下さい。（最大塗厚2mm以内）
- ・モルタル・コンクリート下地は養生期間を十分に取り、完全に乾燥させた状態で施工して下さい。
- ・施工中または施工後養生中に、気温・室温が5℃以下になる事が予想される場合は、施工をお避け下さい。